

りあん

～きずな～

Vol.2
2015



会員の地域での活動報告

南区訪問看護事業所のネットワーク構築に向けた取り組み

名古屋市南区は、人口約13.9万人、65歳以上の人口約3.8万人、高齢化率27.1%、市内16区中第1位です（平成26年12月1日現在）。長寿で有名な、きんさん・ぎんさんの住んでいた地域です。

「平成26年度愛知県在宅医療連携拠点事業」実施12か所の1つが南区医師会です。

この事業の「在宅医療推進実務者会議（平成26年5月30日）」の中で、事務局の笠寺病院片桐医師から、「在宅医療連携に訪問看護が重要！

医師会のように職種の組織化が必要！ミニ（機能）強化型のような形ができないか」と投げかけられました。区内には中小病院が点在、法人内完結型も多く、その時点では訪問看護事業所同士の繋がりが少ない状況でした。同年3月に区医師会と訪問看護事業所の第1回医療連携勉強会を開催、年2回実施予定ですが、職種間連携を図る場としては不十分です。また、拠点事業の事前調査結果から、訪問看護に求められる期待が大きくても、人員不足や人材育成等課題もみられました。1事業所で担うには限界があり、区内の訪問看護事業所連携の必要性を実感しました。

ネットワーク構築に向けての第一歩は全事業所が集まること。「NAGOYAかいごネット」の事業所検索ページに登録された14事業所へ「第1回南区訪問看護事業所連携会議」の開催を呼びかけました。第1回目は7月15日（火）18:30～20:00、参加者12事業所19名、関心の高さを実感しました。各事業所及び自己紹介後、南区在宅医療拠点事業の概要説明、訪問看護の課題、今後の進め方について検討しました。今後について「課題をきちんと出し、議論する場であれば意義がある」と意見があり、次回の議題としました。第2回目を翌月開催に決定、事前調査後、再検討することとなりました。

そして、第2回目は全事業所23名参加。毎月第3（火）18:15～19:15（場所：笠寺病院会議室）に定例化が決定。会議後に居酒屋で懇親会、親睦を深めました。その後は毎回10～11事業所が参加しています。12月には区医師会会長を誘い忘年会を開催。当初は固い雰囲気での会議でしたが、片桐先生からのエールや見学者の意見も聞き、活発になってきています。



片桐先生を囲んで



また、この会を通じ顔馴染みになり、受入れ困難時、困った時等会議以外でも気軽に相談ができるようになりました。これは大きな成果です。第6回目では「地域で助け合おう!!訪問看護の輪」として、2事業所の連携事例の紹介及び意見交換を行いました。毎回、会議の最後に次回の議題を決めています。そして、時間厳守。忙しい中での貴重な時間を有効に使うようにしています。

次回の議題は「在宅看取り」。今後は医師会や病院等にも提言できるよう議論を進め、南区の在宅医療の発展を目指し、活動を続けたいと考えています。

（名古屋市南区訪問看護ステーション 統括所長 中村美喜）



訪問看護研修会

在宅褥瘡ケアを学ぶ～在宅褥瘡管理の知識を深めよう～

日時 平成26年10月18日(土) 14:00～16:30

場所 愛知県医師会館 9階大講堂

参加者 122名

最新かつ正しい知識と技術を理解でき、実践能力を身に付けるため、安城厚生病院の皮膚・排泄ケア認定看護師 奥井真由美先生をお招きし「在宅褥瘡ケアを学ぶ～在宅褥瘡管理の知識を深めよう～」というテーマで研修会が行われました。平成26年診療報酬改定により在宅における褥瘡対策推進のため、褥瘡のリスク評価の実施等を訪問看護療養費の算定要件とし、褥瘡評価の実施状況の報告が義務づけられました。訪問看護ステーションとして褥瘡ケアに対するエビデンスが求められる中、基本的なことから最新情報やケアの豆知識、看護計画書に至るまで多くの知識やその根拠を症例もまじえてお話いただきました。研修内容は濃密で時間が足りなかったと感じる程でした。参加者からは「わかりやすく実践できる内容だった」「これからのケアに生かしたい」「困っていたことを解決できた」などの声が多く聞かれました。研修後のアンケート結果からも、ほとんどの方が理解でき、すぐに活用できる実用的な研修と好評でした。



訪問看護ステーション東海・北陸ブロック交流会

日時 平成26年10月25日(土)・26日(日)

場所 御殿場高原ホテル(静岡県)



岐阜・静岡・富山県のみなさんと一緒に!

訪問看護ステーション東海北陸ブロック交流会が、富士山の良く見える御殿場高原ホテルで開催されました。一般社団法人全国訪問看護事業協会から、副会長の上野桂子氏と事務局長の宮崎和加子氏をお招きして、愛知、三重、岐阜、福井、富山、石川、静岡28名の訪問看護師の参加でした。

まずは、上野桂子氏による平成27年度介護報酬改定他の最新情報ということで、訪問看護の現状と今後について

講義がありました。「機能強化型訪問看護管理療養費を算定しているステーションはありますか」の問いに、ほとんどのステーションは算定がされていない状態でした。休日の計画的な指定訪問看護や人材育成、人材確保など必要なことが明らかにされていました。

講義の後は、各県の協議会より報告がありました。また訪問看護ステーション東海北陸ブロック交流会の会則が作成されました。

夜には宮崎和加子氏も参加され、「介護保険情報をしっかり読んで事業展開をしてください」とエールを頂きました。

参加者同士情報交換をしたり熱い時を過ごすことができました。

全国訪問看護事業協会20周年記念誌企画 座 談 会



左から、藤野氏、野中氏、星野氏、永井氏

日 時 平成26年10月18日(土) 16:30~17:00

場 所 愛知県医師会館 8階805会議室

愛知県医師会館において「愛知県の訪問看護の未来を語る」をテーマに藤野泰平氏(かかりつけナース名古屋)、野中あかね氏(ひまり訪問看護ステーション)、星野智穂弥氏(れんげ訪問看護ステーション)の愛知県内のステーション管理者3名と、永井知直実氏(当協議会理事)の司会で座談会が開催されました。

印象的だったのは、藤野氏の『コミュニティとの融合』、野中氏の『子供の教育で意識を変える』という2点の話題でした。

高齢者自身が人生の幕をどのようにどこで下したいのか?そういうことを日頃から気軽に語りあうことができ、いざという時の相談相手に訪問看護師がなれるのではないかと。昔の日本のように畳の上で死ぬのが当たり前という時代にするためには子供時代からの教育が大切ではないかと話題が盛り上がりました。

既存の制度にばかり目を向けるのではなく、これから必要な制度を提言していけるようなひとりひとりでありたいと強く感じました。

訪問看護普及啓発講演会

日 時 平成27年1月17日(土) 14:00~16:30

場 所 栄ガスビル 5階501会議室

冬の寒い中、約110名の県民の皆様が足を運んでくださいました。

中井会長より講演会の目的と愛知県訪問看護ステーション協議会の設立について説明がなされました。賛助会員である森永乳業のクリニコさんより栄養剤の説明があり、近藤理事がパワーポイントを使い、訪問看護の利用説明や訪問看護風景を画像でわかりやすく話されました。県民の皆様は、画像に興味深く観てみえました。その後、実際に訪問看護を利用され、ご自宅で亡くなられた方の息子さんである伊藤啓一氏に体験談をお話していただきました。自宅で母親を介護することで病院では制限される面会時間がなく、いつでも会いたい時に居室に行けば母親の顔が見れたこと。また、訪問看護師よりエンゼルケアをしてもらい、その母親の表情は、訪問看護師が生前より接していることから、なんら違和感のないそのままの母だった、寝ているようだったと語り、訪問看護師が心の支えになってくれたことを強調されました。

後半は、「老いの風景」の著書で有名な渡辺哲雄先生を招き、講演していただきました。渡辺先生自身が幼少期からの生育時期を過ごされた郡上八幡での地域性を交えながら、家族関係、源助祖父様やふさ祖母様の自宅での看取りをご家族の立場からユーモアを交えながら話してくださいました。実体験を通して見出した介護される側の心得などを、とても面白く話してください、会場からは何度も笑い声が響きました。祖母様の葬儀で火葬場の係の方の何気ないひと言で救われたエピソードなど、人の心を支える言葉かけの必要性も印象的でした。

加藤容子副会長より「本日の話を冷めないうちに家族や友人に話し、自身がどう生きていきたいか話し合う機会にしてほしい」と話され閉会されました。



渡辺先生の熱い語り



祝 表彰

公益財団法人日本訪問看護財団の「訪問看護貢献者表彰事業」に、愛知県訪問看護ステーション協議会より3名の方を推薦いたしました。去る平成26年11月29日(土)に開催され「日本訪問看護財団設立20周年記念訪問看護サミット2014」において表彰式が行われました。

受賞されました加藤容子氏(訪問看護ステーション太陽・緑)、森田貞子氏(すみれ訪問看護ステーション)、吉田幸代氏(一般社団法人稲沢市医師会訪問看護ステーション)におかれましては心よりお祝い申し上げます。

表彰式に出席された加藤容子氏と吉田幸代氏にコメントをいただきました。

日本訪問看護財団20周年記念という席で、訪問看護功労者として表彰していただきました。日本訪問看護財団、推薦していただきました愛知県訪問看護ステーション協議会の皆様、医療法人純正会訪問看護ステーション太陽の方々、本日までずっとご支援していただきました多くの皆様方に感謝いたします。「看護の集大成としての訪問看護」は、地域包括ケア推進の中、訪問看護に従事する若い看護師の皆さんに期待するところです。(加藤容子)

この度、愛知県訪問看護ステーション協議会の推薦で、公益財団法人 日本訪問看護財団より表彰を受けましたこと大変うれしく思っております。

推薦にあたっては、県下には私よりも長く、また幅広くご活躍の諸先輩がお見えになる中、選んで頂いたこと厚く御礼申し上げます。

これからも、訪問看護の推進に微力ながら貢献していきたいと思います。本当にありがとうございました。(吉田幸代)



加藤氏

吉田氏



森田氏と加藤氏

新設ステーション紹介 めかぶ

はじめまして、『めかぶ訪問看護ステーション』です。昨年10月1日に開設しました当ステーションは、セントレア西隣にあります。多屋海岸というとても静かな海岸のすぐ近くにありますが、若輩者ばかりの事業所ですがめかぶのように粘り強く頑張りますので応援宜しくお願いします。(所長 山本育美)



職員一同とチャッピー

平成27年度事業計画(案)

—— 平成27年度総会にご参加下さい。——

【講演】訪問看護ステーションはどうあるべきか(仮)

公益社団法人日本看護協会常任理事 齋藤 訓子氏

日時 平成27年5月9日(土) 13:30~15:50

場所 愛知県医師会館 9階大講堂

総 会	平成27年5月9日(土) 13:30~15:50
経 営 セ ミ ナ ー	平成27年7月25日(土) 14:00~16:30
訪 問 看 護 研 修 会	平成27年11月頃
訪問看護普及啓発講演会	平成28年1月頃
診療報酬改定研修会	平成28年3月頃

編集後記

桃の節句も過ぎ、いよいよ芽吹き季節ですね。

この春の介護報酬改定はなんとマイナス改定!経営戦略に頭を抱えているこの頃です。経営も大切ですが、やっぱり訪問看護の真髄を忘れてはいけないなあと思います。その真髄を感じたマンガ『ナイチンゲールの市街戦』(小学館)に出会いました。訪問看護師の奮闘をコミカルに描いたおススメの1冊です。



愛知県訪問看護ステーション協議会

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26-15 愛知県看護協会立訪問看護ステーションたかつじ内
TEL:052-871-7611 FAX:052-871-7887

発行日/平成27年3月15日